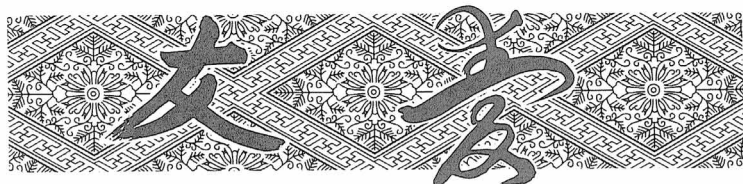


友愛



機関紙「友愛」
発行所
(財)日本友愛青年協会
〒113-0033 東京都
文京区本郷 4-25-9-404
TEL 03-5684-3188
FAX 03-5684-3186

発行人：川手正一郎
編集人：萩原直三
隔月一回 10日発行
講読料
年間 3,000円
1部 300円
印刷所：平野プリント

「友愛の母」鳩山薫先生特集号

気品・情熱・慈愛の人

—写真展「鳩山薫の生涯」開かる—

「宰相を支えた賢夫人」「良妻賢母のファーストレディ、教育にも情熱」(昭和五十七年八月十六日付「朝日新聞」)と讃えられた「友愛の母」薫先生が亡くなって、早いもので今年で十六年目の夏を迎えた。その薫先生は、一郎先生の「友愛の理想」を誰よりもよく理解し、昭和三年の一郎先生急逝後は、いつも友愛運動の先頭に立つてくださった。そこには、ただ良妻賢母の典型としてとか、あるいは宰相の妻としてとかではなく、いつでも、まづかいたる人にも深い慈愛で接せられる人間、鳩山薫の姿があった。同時に、その姿は、細やかな心づかいの、知性溢れる優しい女性・薫でもあった。今でも、多くの人々が、親しみを込めて尊敬し、また懐かしみながら慕うのは、そこに理由があるように思う。その意味で言えば、まさに友愛思想を体現なさっていた方なのである。

現代の混迷する社会にあつてこそ、あらためて、真の友愛精神を実践された薫先生の、あの自然なお姿に学び直すべきではないかと考える。今回鳩山会館より、貴重な写真をご提供いただいたので、ここにそのいくつかを掲載した。

さて、ご存じのように、薫先生は、明治二十一年(一八八八年)十一月二一日に、横浜地裁判事(後に、内閣書記官長・貴族院議員)・寺田栄氏の長女として横浜でお生



勳一等瑞宝章を戴く

友愛の心は母性から

昨年早春、前会長・鳩山一郎急逝の後をうけて、会長を引き受けさせていただいたから、早いもので、もう一年が過ぎようとしております。(略)

今日、世界の動向は「力の対立」から「話し合い」の方向へ、二大勢力の「武装平和」の対立が急速な雪どけの兆候を示しております。

このことは、私共が機会ある毎に希望していた「友愛精神に基づく外交」が「武力を背景とした外交」にその所を置き換える歴史的段階にさしかかっていることを示しているものだと思えます。(略)

青年は「次代」を背負うものであると同時に、「時代」を創造するものであることは、歴史が語る事実であります。思想と信念は

子を見守っていたのが、のちに姑になる、一郎先生の母・春子女史である。「幼い頃から傍らにいた『妹』が、突然、かけがえのない『女性』になる、そんな戸惑いの喜び・・・」(鳩山一郎著・川手正一郎編・監修『若き血の清く燃えて』講談社)を経て、一郎先生と薫先生は結婚することになる(明治四一年九月十八日・一郎二五歳、薫二〇歳)。その後の、例えば「昭和十三年に、春子校長のあと共立の学園長に就任してから、九三歳で亡くなるまで、実に四四年の長きにわたって教育者として、



カレルギー伯と薫先生

八面六臂の活躍をした」(『共立女子学園百年史』)ことなどにについては、ここで語る必要もないほど広く知られている。例年「鳩山会館」では、この八月に、そうした薫先生のお人柄を「写真展「鳩山薫の生涯」」として、来館の方々に展示している。たまたま命日に、武蔵野市からお二人で来館したというご婦人は、「今日がご命日とは知りませんでした。でも、こんな特別な日に来られてとても光栄です。若い頃からずっと薫先生に憧れていました」とおっしゃっていた。また、

鳩山薫

またその原動力であります。深い洞察力と普遍性を持った「思想」と、実行力に裏づけられた固い「信念」は、「時代」を創造する「生みの母」といえます。会員の皆さんが、国際社会の行くべ

き方向をよくみて、常に誤りなき世論の先頭に立たれるよう、友愛の実践に強い期待を持つのであります。

更にこの機会に特に一言したいのは、婦人部及び婦人会員の方の

一層の活躍であります。「すべての友愛主義、すべての人道主義は母性的感情がその核心である」といわれています。戦後、社会の各分野における婦人の進出は誠にめざましいもので、分野によっては革命とさえ言える改良をもたらしている所もごさいます。しかし、文化の程度の低い地域は、必ず、婦人の地位の低いところであるという事実が、一つの示唆であるかと思えます。会員の皆さんの活躍が、各地域で果たされるという役割というものは、想像以上に高く評価されるべきものであります。「婦人こそ一切の友愛の根源である」といわれるのは、地域社会の向上にとって、婦人の活動が不可欠なものであることを示した言葉であるといえましょう。

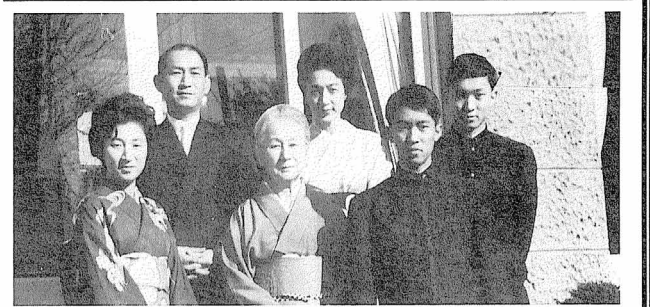
(昭和三五年一月一〇日付・機関紙「友愛」第82号より)

「文京区の『年間催し物のお知らせ』を見て来館しました」という、やはり二人でお見えになったという若いお母さんは、「薫先生の凛としたお顔が素敵。私たちも真似したいわね。でも無理かも。」と楽しそうに語ってくれた。共立で教鞭をとられた中川幹子氏の『珠玉の人——鳩山薫先生伝』(日輪閣)によれば、「相手は誰であらうと、機会があれば親身になって、身の上相談にさえ乗ってあげる、そんな優しい温かい気持ちを相手に与えずにはおかない先生なのである」(「飾らざる賢女」という。

また八四歳の時の薫学長は、共立女子大学の全学集会講話で「皆さんにお願いするのですが、愛情を持って生きていただきたいのです。愛情が女性にとってどんなに大切なことか、自分たちの都合ばかりでなく、その愛情を人に及ぼしてゆく、友愛の精神を持っていただきたいと思うのです」(共立女子学園校友会「桜の友」薫先

誰に対しても、慈しみの心で接しておられるご様子が、自然に伝わってくる。一郎先生は「私の脳溢血は、追放に對し、あるいは追放解除の妨害に對し、憤激したことからおこったもので、いわば、私の未熟から発したものである」(「鳩山

一郎回顧録」と語っているが、「命だけ助かってくれれば、と、それだけを願う」ながらも「政界復帰の一念で、つらい今の毎日を耐えしのんでいる鳩山を見てみると、たとえ私がステッキ代わりになっても、なんとかしてやり一度政界へカムバックさせてやりたいという新たな気持ちで沸きあがってくる」(「鳩山薫」おもひで)という薫先生の愛情には、たとえようのない深さを感じる。薫先生は常に「仕事をしなくては生きていること」とおっしゃって



薫先生を囲むご一家

と心にかく小淵内閣には「景気回復」の仕事を徹底して実施していただくほかにありません。心で政府の政策を否定するだけだ、何も生まれることは確かです。しかし、その実施は、一世同利株安」が起き、恐慌、懸念される今日においては、とにかくスピードが要求されます。今国会の最大の焦点は「金融再生関連法案」で、景気回復をこれに力けることとなります。各党は法案の成立に協力することを目指します。心ただし、無条件というわけには参らないでしょう。即ち「話し合い解散」の意がなければ、一話し合い解散の合意も取り付けられず、自民党は選挙をやりたくない。野党は選挙をしたい。重要法案を通した暁には、歩み寄り、当然です。野党の参議院での「勝利」は、一時的なもので、この国の非常時に、揚げ足取りをし、自民党が約束を違えたなら、参議院ですべての法案を否決し、小淵内閣を打倒し解散に追い込む。野党勝利は火を見るより明らかです。分かります。このため、物事を単純にする、心が大切。心分かります。このうのは、責任転嫁も甚だしいと言わざるを得ません。難しいことを分かります。見せること(手法)も政治家の重要な能力のうちではないでしょうか。心。今が正念場です。政治家一人一人の方々に、是非頑張っていた

静和

最高の思い出



井上和子

(財)日本友愛青年協会常務理事(故鳩山威一郎・長女)

母が共立の学園長をしていた当時生徒だった方々に印象をうかがうと、異口同音に、「背筋をピンと伸ばして和服をキリッと着て



心の宝物

言動に於ても——全く見た事が無い。同じ家に暮らしていた私でさえ見た事がないと云う事は、本当に見事としか言いようがない。

私が結婚してから音羽の家に遊びに行った時のこと、丁度母は留守で、祖母と二人で昼食をとった。私はもう嫁に出た人間だからという訳か、祖母はしきりにもてなしてくる。「みかんあがる？」とさかき、「はい」と答えると、自分で立てて行って沢山並べてあるみかんの中から二つ取って来てくれた。一つを私に渡し、あとの一つを自分でむいているのを見ると、傷んでいる。「大ママ(私共孫は、祖母をこう呼んでいた)、それ傷んでしまうから違うのを取って来よう」と云うと、ニコッと笑い「いいのよ。少し傷んでい

る位の方が美味しいから」。みかんはそれこそ腐るほど並んでいる。祖母が傷みかけたみかんを食べても、大勢に影響はないかもしれない。でも、他を食べたら、確実にそのみかんは人の口に入ることなく腐ってしまうだろう。それにはやっぱり勿体ない事なのだ。祖母はお説教じみた事は言わない。けれどどきんとお手を示してくる。そのお手本にいくつ気づいたか、私としては、はなはだ心も

たか、私としては、はなはだ心ももう一つ、未公開とおきの思い出話。私は山本周五郎の小説が好きだった。祖母も面白がって、私が読んだ本を一貸してちょうだい」と云って読んで楽しんでくれた。「長い坂」と云う名作を貸してあげた時の事、食事の後、祖母に「あの本、全部読んだの？」とさりげなく聞かれた。「はい」と答えると「そう」と云って、祖母はそれからしばらく黙って、祖母は「結婚してすぐにああいう風になる訳ではないのよ」と云われた。「失楽園」がもてはやされる今の本から考えると、どう云う表現ではないけれど、男女の間の描写があり、祖母は結婚を目前にした私に「現実を覚えておかなくては。」と云ってくれたらしい。世間広しと云えど、祖母・薫から性教育を受けた人間はまず私以外に居ないだろうと、これは祖母の愛情をしみじみと感じる、私の最高の思い出である。

(長田正太郎)

—友愛婦人会—

新役員懇談の夕べ

去る七月九日(木)午後六時から、「友愛婦人会」の新役員懇談の夕べが、鳩山会館にて開催された。大川さんのユーモア溢れる巧みな司会で会が始まった。



鳩山安子会長

まず鳩山安子会長より、「友愛婦人会を支えてくださっている役員の皆様、心から感謝いたします」との挨拶があった。続いて挨拶に立った川手財団常務理事・鳩山会館館長は、冒頭「華やかな女性だけの会」に、男性としてお招きを受けたことを光栄に思っていると述べ、さらに「鳩山ご兄弟にさらに活躍していただけるよう、婦人会の方々と共に頑張りたい」と述べると、会場からは共感の大きな拍手が起きた。引き続き、順に、自己紹介を兼ねて「友愛婦人会」との縁を語って進行していった。会員の中には「私は鳩山春子先生の教え子でして」という方も何人かおられ、友愛婦人会の歴史を感じさせた。徐々に会はなごやかに



川手正一郎館長

かさを増し、途中からは「掛け合い漫才」のように会話は弾み、それがまた食事をいっそう美味しくさせたようである。

もちろん、水野麻実子さん(国立音大出身)のヴァイオリンも素



なごやかに乾杯



水野麻実子さん

「文京区主催・区民バザール」 友愛婦人会も出店

来月10月10日(体育の日)午前10時～5時まで「教育の森」公園で文京区主催の区民バザールが開催されます。もちろん「友愛婦人会」も出店します。素敵な品々がお値打ちで見つかるはずですが、是非、ご友人をお誘いの上、お越しください。なお、収益金の一部は社会福祉団体に寄付されます。

の後、一郎先生の「和為貴」の前にて記念写真を撮り、楽しく優雅なひとときは「お開き」となった。

友愛婦人会が「文京区ゴミ計量調査」モニターに協力

九月六日から一〇月四日までの四週間、文京区企画部制度改革課が実施する標記調査に、友愛婦人会から四〇名が協力することになった。これは、自分の家庭から出たゴミの計量や不燃物等との分別など、現在の、いわゆる「ゴミ処理問題」への貴重な調査につながるものである。ご承知のように、これからは各区自身でゴミを処理していくかねばならぬ状況である。資源のリサイクル問題も含め、こうした社会的な課題に友愛婦人会が積極的に協力する意味は大きい。文化活動や社会福祉活動に加え、地域の抱える最も困難な問題に取り組む友愛婦人会の姿勢は、社会にとって欠くことのできないものである。地道な活動を続ける婦人会の今後、さらに期待したい。

「友愛」活動の記録

・六月二五日(木) 「総務庁青少年国際交流事業連絡会議」が総務庁青少年対策本部(渡辺参事官)が行われた。

・七月 八日(水) 第345回「友愛クラブ例会」講師・宇宙開発事業団理事・石井敏弘先生(キャピトル東急)

・七月 九日(木) 「中青連・政策提言委員会」が国立オリンピック記念青少年総合センター会議室にて開催された。

・七月 九日(木) 「友愛婦人会・新役員顔合わせ」が鳩山会館にて開催された。

・七月一五日(水) 「平成10年度社会活動振興費補助金の内示・説明会」が文部省にて行われた。

今年度の補助金は、ほぼ一律約四

〇パーセントの大幅な減額となり、極めて厳しい運営となった。

・七月二二日(水) 第2回運営委員会が鳩山ビルにて開催され、「南京市青年との交流事業」の原案が提案され、理事長より承認された。

・七月二三日(木) 陳 健 新駐日大使歓迎会(ホテル・ニューオータニ)

・七月二九日(水) 第2回運営委員会が承認された「南京市青年との交流事業計画」の原案に基づき、川手常務理事が酒井誠日中友好協会事務局長と懇談。(ニッセイ会議室)

・八月一日(土) 鳩山薫先生の写真展(「鳩山薫の生涯」)が、鳩山会館にて開始される。(八月三〇日まで)

・八月 七日(金) JICA(国際協力事業団)の実施している「21世紀のための友情計画」への活動協力協議会・第1回理事會が、国立オリンピック記念青少年総合センター会議室にて開催された。この会は、ASEAN各国に設立された「21世紀のための友情計画」の参加者による「同窓会」設立支援を柱としたものである。会長には、上村文三氏(青少年育成国民会議副会長)が就任。

「友愛」は、日本国際協力センター等と共に「広報委員会」を担当することになった。なお、長年ご交遊をいただいていた、世界青少年交流協会の居崎司常務理事(事務局長が、ご病気のため、去る八月三日に逝去された(享年五五歳)。謹んでご冥福をお祈りしたい。

・八月一〇日(月) JICA・佐野景子氏の「異動に伴う『送別会』」(国立オリンピック記念青少年総合センター「さくら」)

・八月一二日(水) 外務省主催「日中平和友好条約締結20周年祝賀及び、中国青年訪日代表团(中国外交部副公庁副主任・劉团长以下一行百名) 歓迎レセプション」に「友愛」より25名参加。(ホテ

鳩山会館の御案内



最近では東京の「桜とバラの最高の名所」と呼ばれています。一郎先生、薫先生、威一郎先生のお人柄にふれながら、美しい庭園で多くの方が心の休息をとっています。

開館時間：10:00～16:00/休館日：月曜日
会館事務局：TEL 03-5976-2800
FAX 03-5976-1800
〒112-0013
東京都文京区音羽1-7-1

○入館料

大人 500円
学生(高校生、大学生など) 300円
小・中学生 200円
団体割引 20名以上入館料10%割引

○交通案内

地下鉄をご利用ください
●有楽町線 江戸川橋駅下車 徒歩7分
●〃 護国寺駅下車 徒歩8分

※詳しくは、会館事務局までお問い合わせ下さい。

ル・ニューオータニ「鳳凰の間」)
・八月二二日(水) 「中青連・平成10年度第1回国際交流委員会(日本青年館)」
・八月二五日(土) 鳩山薫先生墓参(谷中)
・八月一七日(月) 日韓青少年定期交流受入事業(中青連)・「韓国訪日代表団歓迎会」(团长・曹・大韓仏教青少年教化連合会事務局長以下10名(国立オリンピック記念青少年総合センター))
・八月二六日(水) 第3回運営委員会が開かれ、事務局より提案された、秋から冬にかけての事業案が検討された。

賛助会員募集のお願い

「友愛」の活動・事業を支えてくださる賛助会員を募集いたしております。一口・一万円以上です。よろしくお願いいたします。

「郵便振替口座」
(財)日本友愛青年協会
0013012123095

・九月一日(火) 友愛婦人会運営委員会
・九月 七日(月) 友愛婦人会幹事会

宇宙開発事業団 石井敏弘先生 |

石井敏弘先生

などの、いわば「ガイダンス」から、



石井敏弘先生

今日の宇宙開発利用の現状および今後の開発計画まで、柔らかな関西弁を交えて楽しく解説してくださった。

「今、世界全体で約5000個打ち上げられていて、もちろんその大半は米国とロシアですが、日本は70〜80個打ち上げています。一基打ち上げに190億円かかりましてね。だから失敗すると大変ですよ（笑）」などとおっしゃっていた。

「21世紀には、宇宙衛星関係ビジネスで、3兆円規模の産業に育成する」とも言われている。いずれにせよ、時間や空間の概念が、いかにも日常生活とかけ離れているので、會員の皆さんも、しばし忙しい現実を忘れ

ることができたようである。なお、その後「おりひめ、君はどこ?・ドッキング成功、今度は失敗」(一九九八、八、七『朝日』夕刊)、「事業団に批判続々・『認識が甘い』」(同・八、一二)など、やや厳しい結果が出ている。しかし、この「無人同士のドッキング成功」は、欧米日ロなどの「国際宇宙ステーション計画」に、わが国が貢献する道筋を開く重要な意味を持っている。とりわけ予算規模の小さい(米国「NASA」は、年間1兆7千億に對し、日本「NASDA」は、年間約1千八百億円)日本にとっては、この道(技術)に活路を求める以外にないとも言われているだけに、ぜひ頑張っていたきたいものである。これから「衛星のコストの削減を考えながら、成功を狙う」(同・一九九八、八、一二)というニュースもあったので、そのつもりで夜空を見上げていただくとういかもしれない。なお今回は、齒科ペンクラブ事務局長・羽中田元美さんが参加してくださった。九月の例会は、自民党衆議院議員・下村博文先生をお招きする予定である。



夢のある質疑応答

友好を促進

去る八月十二日に、日中平和友好条約締結20周年を記念して外務省が招待した「中国全国青年代表団」(中国外務省弁公庁副主任・劉国良以下、百名の青年)の歓迎レセプションが、同条約締結記念金祝賀会を兼ねて、ホテル・ニュー・オータニで開催された。「友愛」は、今回のお世話役である日中友好協会より、お声をかけていただいたので、学生部の矢野方樹君(東大)、伊藤悠君(早大)、青木昌弘君(中大)、秀島耕太君(筑波大)、竹谷真実さん(東京女子大)等、二十五名が参加し、中国の青年たちと大いに歓談した。歓迎レセプションは、高村外務大臣、陳健駐日大使のご挨拶の後、町村外務政務次官の乾杯で始められた。「友愛」の学生諸君は、元友愛学生部の銭亮君(青山学院大OB・上海出身・現オリックス勤務)や、銭君と同じ職場の鄒婷婷さん(北京出身)に通訳をしてもらいながら、会場のあちこちで、ごちそうを片手に「日中友好」を深めていた。また当日お見えだった民主党の海江田万里衆議院議員や中江要介元中国大使、程永華駐日参事官にもお話を伺ったりしていた。短い時間ではあったが、21世紀の両国間友好と信頼は、やはり若い世代同士で築いていかねば、という責任をあらためて感じた一日でもあった。なお「友愛」からの他の参加者は、次のとおりである。

鄭玉順(東大)、鄭亘恵(早大)、中村岳文(学習院大)、安井友香(学習院大)、安孫子忠司(日大)、神戸克磨(中大)、渡辺瑠美(中大)、森崎幹一(中大)、川添華子(東京女子大OG)、伊藤真由子(昭和医大)、渡来拓(慶応大)、丸山俊(早大)、萩原みのり(慶応大OG)、川島裕子(東京女子大)

韓国青年と交流

去る八月十七日（月）、中青連訪の「日韓青少年定期交流事業」で訪日した「韓国訪日代表团」（曹務局長へ大韓仏教青少年教化連合会事務局長）以下一〇名の歓迎会を総合センタ―にて開催された。一行は、川越、栃木、飯能などを訪れ、ホームステイを含め、各地で友好を深める予定である。安藤総務庁参事官補佐、大野中青連会長の歓迎の挨拶があった。日韓青年の友好と理解を促進するには非常によい機会である。「友愛」よりは、事務局の伊勢崎が出席し、今回参加の韓国大学生諸君と懇談した。



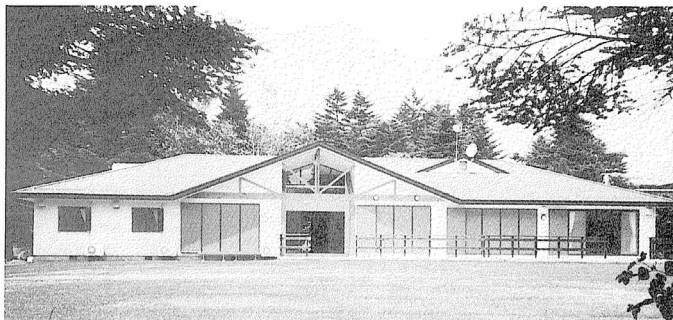
21世紀の日中友好は青年の手で

大)、四瀉真由美(東京女子大)、仙洞田佳子(東京女子大)、小松純子(友愛事務局)、萩原直三。



日韓青年の友情を語る代表団の皆さん

KARUIZAWA
友愛山莊のご案内



- **利用料金：** 一部屋の利用人数により利用金が変わります
 和室(10畳) 3～4名利用の場合 4,400円 (お一人)
 洋室(TWIN) 2名で利用の場合 7,000円 (")
 食事代：朝食1,000円 夕食2,000円

詳しくは（財）日本友愛青年協会へ
TEL 03-5684-3188 FAX 03-5684-3186

BREAKTHROUGH INNOVATORS



NISSEY
CORPORATION

ニッセー株式会社

本社：東京都千代田区外神田4-5-4 〒101-0021
TEL. 03-3253-7581